

2026年度「立命館大学 西園寺記念奨学金（成績優秀者枠）」要項

2026年3月 立命館大学

1. 目的

本奨学金は、学部での正課の学習において努力し、優れた成績を修めた学生を「学びの立命館モデル」の趣旨にそって褒賞し、周囲の学生の学びと成長の模範となることを奨励することを目的とします。

2. 給付対象となる回生および学期

4月入学生：1回生秋学期～4回生（薬学部薬学科は6回生）春学期

9月入学生：1回生春学期～4回生秋学期

3. 対象となる学生

奨学金を給付する学期（給付学期）に在籍し、以下のいずれかを満たす者

(1) 給付学期の直前の学期に在学していた者

(2) 給付学期の直前の学期に学籍状態が留学となっており、給付学期に留学期間が終了している者

4. 選考の対象となる期間

給付学期の直前の学期

※薬学部薬学科5回生は別表1を確認してください。

※選考対象となる学期の学籍状態が「留学」だった場合、留学期間中の成績は留学終了日を含む学期に修得した成績として取り扱われます。ただし、学部により異なる場合がありますので、あわせて別表2を確認してください。

※給付学期に転籍した場合は、転籍前の学部・学科での成績に基づき、転籍前の学部・学科において選考を行います。

5. 給付人数

学部（学科）、回生ごとに異なります。別表1を確認してください。

給付学期に転籍した者は、その直前の学期に所属していた学部の人数に含めます。

6. 給付金額

学部	給付金額
法学部、経済学部、経営学部、産業社会学部、国際関係学部、政策科学部、文学部、スポーツ健康科学部、総合心理学部、食マネジメント学部	学期あたり 150,000円
映像学部、理工学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部、グローバル教養学部、デザイン・アート学部	学期あたり 300,000円

7. 選考基準

全学および各学部で定める基準をもとに選考します。

全学で定める基準	給付学期の直前の学期に修得した卒業に必要な単位の GPA
----------	------------------------------

各学部で定める基準 GPA が同点の場合の取り扱い	別表 2 を確認してください。
------------------------------	-----------------

8. 奨学生の決定

学部が選考基準にもとづき、優秀者から順に推薦・決定します。

9. 奨学生への通知

学部より決定および受給手続について通知します。

春学期：6月10日（水）13：00（予定） 秋学期：11月11日（水）13：00（予定）

10. 奨学生の公表

学部・学科・氏名をホームページで公表（学内のみ）します。

11. 奨学生の辞退について

奨学生となった学生が本奨学金を辞退する場合は、所定の手続きを行なってください。

12. 奨学金の給付方法・時期

手続を完了した者に対して、給付金額全額を一括して給付します。給付は、本人名義の銀行口座へ振込みによって行います。

春学期：8月中旬（予定） 秋学期：2月中旬（予定）

13. 奨学生の義務

奨学生となった学生は、以下のことが義務付けられます。

- (1) 発表時に氏名公表を行うことに同意すること。
- (2) 他の学生の模範となるよう、選考要項に定める受給者に求める役割を果たすよう努めること。
- (3) 学習成果報告書を提出すること。

14. 奨学生に期待される役割

奨学生となった学生は、他の学生の模範となるよう、学部から ES や学習アドバイザー等として他の学生への学習支援を行うことを依頼された場合は、積極的にその役割を果たすことが求められます。

15. 給付の取り消し

正当な理由なく上記「13. 奨学生の義務」に定める事項を行わないとき、正当な理由なく所定の日までに受給手続を完了しなかったとき、停学の懲戒を受けたときは、給付を取消し、返還を求められます。

16. その他

学外奨学金との併給可否については、各奨学金の規程等を確認してください。

以上

[法学部]

別表1 給付人数

1回生 秋学期	2回生 春学期	2回生 秋学期	3回生 春学期	3回生 秋学期	4回生 春学期
15	15	15	15	15	15

別表2

<p>選考基準 (各学部 で定める 基準)</p>	<p>1. 第3学期以降については、選考・受給決定を行う直前の学期における修得単位が18単位以上であること、または、選考・受給決定を行う直前の2学期における修得単位の合計が36単位以上であること。第2学期において選考・受給決定を行う場合には、その直前の学期における修得単位が17単位以上であること。</p> <p>2. 1.に加えて、学部基礎科目の単位数を下表のとおり修得していること</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>選考・受給決定学期</th> <th>単位修得の基準となる学期</th> <th>必要単位数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第2学期 (1回生秋学期)</td> <td>第1学期 (1回生春学期)</td> <td>8単位</td> </tr> <tr> <td>第3学期 (2回生春学期)</td> <td>第1・2学期 (1回生春学期・秋学期)</td> <td>14単位以上</td> </tr> <tr> <td>第4学期以降 (2回生秋学期以降)</td> <td>出願・選考学期以前のすべての学期</td> <td>16単位以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：留学等の事情で学部基礎科目を履修できなかった学期がある場合、第5学期まで選考・受給決定については、履修できなかった学期の割り当て分を必要単位数から控除する。第6学期、第7学期の選考・受給決定については16単位以上とする。</p>	選考・受給決定学期	単位修得の基準となる学期	必要単位数	第2学期 (1回生秋学期)	第1学期 (1回生春学期)	8単位	第3学期 (2回生春学期)	第1・2学期 (1回生春学期・秋学期)	14単位以上	第4学期以降 (2回生秋学期以降)	出願・選考学期以前のすべての学期	16単位以上
選考・受給決定学期	単位修得の基準となる学期	必要単位数											
第2学期 (1回生秋学期)	第1学期 (1回生春学期)	8単位											
第3学期 (2回生春学期)	第1・2学期 (1回生春学期・秋学期)	14単位以上											
第4学期以降 (2回生秋学期以降)	出願・選考学期以前のすべての学期	16単位以上											
<p>GPAが同 点の場合 の取り扱 い</p>	<p>複数の候補者が当落線上において同点で並んだ場合、次の基準を順次適用して選考する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学部基礎科目の累積GPA 2. 専門科目の累積GPA 3. 選考時までには修得した要卒単位の総数 4. 学部基礎科目の累積GPA 計算式の分子部分の数値 												

[経済学部]

別表1 給付人数

1回生 秋学期	2回生 春学期	2回生 秋学期	3回生 春学期	3回生 秋学期	4回生 春学期
15	15	15	15	15	15

別表2

<p>選考基準 (各学部 で定める 基準)</p>	<p>前学期において卒業に必要な単位を 16 単位以上修得していること。なお選考段階で、学部長は、受給対象者としてふさわしくないと判断した学生を対象者から外すことができる。</p> <p>※パッケージ履修をするプログラムの修得科目について、必要なパッケージ履修単位数を満たしていない場合であっても、選考に必要な単位数および GPA 算出に含める。</p>
<p>GPA が同 点の場合 の取り扱 い</p>	<p>次の基準を順次適用して選考する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 要卒総修得単位数 2. 累積 GPA 3. 累積 A+の評価数 4. 対象期間の専門科目の A+の評価数

[経営学部]

別表1 給付人数

	1回生 秋学期	2回生 春学期	2回生 秋学期	3回生 春学期	3回生 秋学期	4回生 春学期
経営学科	13	13	13	13	13	13
国際経営学科	3	3	3	3	3	3

別表2

選考基準 (各学部 で定める 基準)	<table border="1"> <tr> <th>選考・受給決定学期</th> <th>前学期修得の「要卒単位数」</th> </tr> <tr> <td>1回生秋学期</td> <td>16単位以上</td> </tr> <tr> <td>2回生春学期</td> <td>16単位以上</td> </tr> <tr> <td>2回生秋学期</td> <td>14単位以上</td> </tr> <tr> <td>3回生春学期</td> <td>14単位以上</td> </tr> <tr> <td>3回生秋学期</td> <td>12単位以上</td> </tr> <tr> <td>4回生春学期</td> <td>12単位以上</td> </tr> </table>	選考・受給決定学期	前学期修得の「要卒単位数」	1回生秋学期	16単位以上	2回生春学期	16単位以上	2回生秋学期	14単位以上	3回生春学期	14単位以上	3回生秋学期	12単位以上	4回生春学期	12単位以上
	選考・受給決定学期	前学期修得の「要卒単位数」													
	1回生秋学期	16単位以上													
	2回生春学期	16単位以上													
	2回生秋学期	14単位以上													
	3回生春学期	14単位以上													
	3回生秋学期	12単位以上													
4回生春学期	12単位以上														
※必要単位数を満たしていない専門演習や副専攻の修得単位については、選考に必要な単位数およびGPA算出に含める。															
GPAが同 点の場合 の取り扱 い	次の基準を順次適用して選考する。														
	1. 選考対象学期（前学期）の卒業要件修得単位数※														
	2. 直近1年間の卒業要件修得単位数※														
	3. 選考対象学期（前学期）の累積A+の数※														
	4. 直近1年間の累積A+の数※														
5. 総合基礎科目（5科目）の成績															
※必要単位数を満たしていない専門演習や副専攻の修得単位については、選考に必要な単位数およびGPA算出に含める。															

[産業社会学部]

別表1 給付人数

1回生 秋学期	2回生 春学期	2回生 秋学期	3回生 春学期	3回生 秋学期	4回生 春学期
12	12	12	12	12	12

別表2

<p>選考基準 (各学部 で定める 基準)</p>	<p>前学期において卒業に必要な単位を16単位以上修得していること。</p>
<p>GPAが同 点の場合 の取り扱 い</p>	<p>次の基準を順次適用して選考する。なお、記載するすべての項目でも差が生じなかった場合、産業社会学部教授会において取り扱いを判断する。</p> <p>[1回生]</p> <p>①情報リテラシー I、入門社会学が有効評価(「A+」「A」「B」「C」「P」「T」)である者</p> <p>②選考対象学期に修得した、卒業必要単位の単位数が多い者</p> <p>③選考対象学期に修得した「A+」評価数が多い者</p> <p>④選考対象学期に修得した「A」評価数が多い者</p> <p>⑤基礎演習 I の評価が高い者</p> <p>[2回生以上]</p> <p>①累積 GPA が高い者</p> <p>②累積の卒業必要単位の修得単位数が多い者</p> <p>③選考対象学期に修得した「A+」評価数が多い者</p> <p>④選考対象学期に修得した「A」評価数が多い者</p>

[国際関係学部]

別表1 給付人数

4月 入学生	回生	1回生	2回生		3回生		4回生	
	学期 【セメスター】	秋学期 【2】	春学期 【3】	秋学期 【4】	春学期 【5】	秋学期 【6】	春学期 【7】	
9月 入学生	回生		1回生	2回生		3回生		4回生
	学期 【セメスター】		春学期 【2】	秋学期 【3】	春学期 【4】	秋学期 【5】	春学期 【6】	秋学期 【7】
国際関係学科		6	7	7	7	7	7	1
国際連携学科		1	1	1	1	1	1	-

※国際連携学科は協定に基づき、RU ホーム生から選抜する。

※奇数セメスター（例、1，3セメスター）休学した場合は、異なる入学時期に適用される。

別表2

選考基準 （各学部 で定める 基準）	<p>前学期において卒業に必要な単位を 16 単位以上修得していること。 （アメリカン大学・立命館大学ジョイント・ディグリー・プログラムの在学生の 場合、15 単位。）</p> <p>※国際関係学科（IR 専攻・GS 専攻）において、留学期間中に留学先で修得した単位 （T 評価・A+～F 評価とも）は上記単位の対象外とする。ただし、GPA 計算に際し ては、A+～F 評価で単位授与された科目は対象とする（T、P 評価で単位認定された 科目は GPA の計算対象に含まない）。</p>
GPA が同 点の場合 の取り扱 い	<p>選考対象となる学期の GPA が同点の場合以下の順で採用者を決定する。</p> <p>（1）累積 GPA の上位者 （2）累積要卒修得単位数の多い者 （3）選考対象学期に修得した「A+」評価単位数が多いもの （4）選考対象学期に修得した「A」評価単位数が多いもの</p> <p>上位 4 項目がすべて同じ場合、学部において決定する。</p>

[政策科学部]

別表1 給付人数

	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
4月入学生	1回生	2回生	2回生	3回生	3回生	4回生	
9月入学生	2回生	1回生	3回生	2回生	4回生	3回生	
	9	9	9	9	9	9	

※但し、9月入学生の受給者上限は3名とする。

※奇数セメスター（例、1，3セメスター）休学した場合は、異なる区分に適用される。

別表2

<p>選考基準 (各学部で定める基準)</p>	<p>前学期において卒業に必要な単位を16単位以上修得していること。 ※ただし、留学期間中に取得した単位については、A+～F評価で単位授与された科目はGPAの計算対象に含むものとして取り扱う（T、P評価で単位認定された科目はGPAの計算対象に含まない）。</p>
<p>GPAが同点の場合の取り扱い</p>	<p>次の基準を順次適用して選考する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前学期の「A+」評価数が多い者 2. 前学期の「A」評価数が多い者 3. 前学期小集団コア科目（基礎演習、プロジェクト入門、研究実践フォーラム、政策構想演習）の評価が高い者 4. 累積GPAが高い者 5. 累積の小集団コア科目の評価が高い者 6. 取得している累積卒業単位数 7. 累積の「A+」評価数が多い者 8. 累積の「A」評価数が多い者 <p>上位8項目がすべて同じ場合、学部において決定する。</p>

[文学部]

別表1 給付人数

1回生 秋学期	2回生 春学期	2回生 秋学期	3回生 春学期	3回生 秋学期	4回生 春学期
21	21	21	21	21	21

別表2

<p>選考基準 (各学部で定める基準)</p>	<p>奨学金の選考対象となる学期において卒業に必要な単位を12単位以上修得していること。</p> <p>※卒業に必要な科目(副専攻科目含む)を対象とする。</p> <p>※T評価で単位授与された科目は除く。</p>
<p>GPAが同点の場合の取り扱い</p>	<p>選考対象となる学期のGPAが同点の場合以下の順で採用者を決定する。</p> <p>(1) 選考対象となる学期の専門科目のGPA上位者</p> <p>(2) 選考対象となる学期の要卒修得単位数の多い者</p> <p>(3) 累積要卒修得単位数の多い者</p> <p>(4) 選考対象学期に修得した必修科目のうち、「A+」評価が多い者</p> <p>(5) 選考対象学期に修得した専門科目のうち、「A+」評価が多い者</p>

[映像学部]

別表1 給付人数

1回生 秋学期	2回生 春学期	2回生 秋学期	3回生 春学期	3回生 秋学期	4回生 春学期
4	4	4	4	4	3

別表2

選考基準 (各学部 で定める 基準)	選考・受給決定学期	前学期修得の「要卒単位数」
	1回生秋学期	16単位以上
	2回生春学期	16単位以上
	2回生秋学期	16単位以上
	3回生春学期	14単位以上
	3回生秋学期	14単位以上
	4回生春学期	10単位以上
GPAが同 点の場合 の取り扱 い	<p>1回生：初年次コア科目（履修指定科目4科目）の「A+」評価が多い者。</p> <p>2回生以上：累積GPAが上位の者。</p> <p>ただし、上記で選考しても同点であった場合は、「総修得単位数」が多い者を採用する。それでも同点であった場合は、以下の順で採用する。</p> <p>①当該年度に取得した専門基礎科目および専門科目のうち、「A+」評価が多い者。</p> <p>②当該年度に取得した専門基礎科目および専門科目のうち、「A」評価が多い者。</p> <p>③当該年度に取得した科目のうち「A+」評価が多い者。</p> <p>④当該年度に取得した科目のうち「A」評価が多い者。</p>	

[総合心理学部]

別表1 給付人数

1回生 秋学期	2回生 春学期	2回生 秋学期	3回生 春学期	3回生 秋学期	4回生 春学期
7	6	6	6	6	6

別表2

選考基準 (各学部 で定める 基準)	奨学金の選考対象となる学期において卒業に必要な単位を 12 単位以上修得していること。
GPA が同点の場合の取り扱い	GPA が同点の場合、以下の順に採用者を決定する。 ①奨学金選考の対象となる学期に修得した科目の「A+」評価の数の多い者。 ②奨学金選考の対象となる学期に修得した科目の「A」評価の数の多い者。 ③奨学金選考の対象となる学期に修得した科目の専門科目の単位数が多い者。 ④奨学金選考の対象となる学期に修得した科目の専門科目のうち、「A+」評価の数の多い者。

[理工学部]

別表1 給付人数

学科	1回生 秋学期	2回生 春学期	2回生 秋学期	3回生 春学期	3回生 秋学期	4回生 春学期
数理科学科	3	2	2	2	2	2
物理科学科	2	2	2	2	2	2
電気電子工学科	3	4	4	4	4	4
電子情報工学科	3	3	3	3	3	3
機械工学科	4	4	4	4	4	4
ロボティクス学科	2	2	2	2	2	2
環境都市工学科	4	4	4	4	4	4
建築都市デザイン学科	2	2	2	2	2	2

別表2

選考基準 (各学部 で定める 基準)	学期	前学期修得の「要卒単位数」
	1回生秋学期～ 3回生秋学期	前学期における要卒修得単位数が18単位以上であること
	4回生春学期	前学期における要卒修得単位数が14単位以上であること
GPAが同 点の場合 の取り扱い	<p>次の基準を順次適用して選考する。</p> <p>① 選考対象となる学期のGPA</p> <p>② 累積GPA</p> <p>③ 総修得単位数の多い者</p> <p>④ 累積の「A+」評価の科目数が多い者</p> <p>⑤ 累積の「A」評価の科目数が多い者</p>	

[グローバル教養学部]

別表1 【2026年度の給付人数】

4月 入学生	回生	1回生	2回生		3回生		4回生	
	学期 (セメスター)	秋学期 (2セメ)	春学期 (3セメ)	秋学期 (4セメ)	春学期 (5セメ)	秋学期 (6セメ)	春学期 (7セメ)	
	給付人数	2	1	1	0	0	2	
9月 入学生	回生		1回生	2回生		3回生		4回生
	学期 (セメスター)		春学期 (2セメ)	秋学期 (3セメ)	春学期 (4セメ)	秋学期 (5セメ)	春学期 (6セメ)	秋学期 (7セメ)
	給付人数		2	1	1	2	0	0

別表2 【2026年度 各学部で定める成績基準・GPAが同点の場合の取り扱い】

選考基準 (各学部 で定める 基準)	給付学期の直前の学期の修得単位数について以下の条件を満たしていること。	
	学期	条件
	第2学期	16単位以上
	第3学期	16単位以上
	第4学期以降	16単位以上 ※RU科目のみのGPAを対象とする。修得単位数についてはANUから単位認定をした科目の単位数を含む。
※以下の者は給付対象外とする。		
①ANUから履修を開始した者 (Cohort B)		
②留学により、給付学期の直前の学期に修得した卒業に必要な単位のセメスターGPAが「0.00」になる者。		

GPA が同点の場合の取り扱い	給付学期の直前の学期の GPA が同一であった場合、以下の順に推薦・決定する。	
	第 2 セメスター	<ul style="list-style-type: none"> (1)給付学期の直前の学期における「A+」評価の科目数が多い者 (2)給付学期の直前の学期における修得単位数が多い者 (3)給付学期の直前の学期における「A」評価の科目数が多い者 (4)給付学期の直前の学期における「B」評価の科目数が多い者 (5)給付学期の直前の学期における「C」評価の科目数が多い者 (6)給付学期の直前の学期における必修科目の素点(各科目 100 点満点) の合計が高い者
	第 3 セメスター	<ul style="list-style-type: none"> (1)給付学期の直前の学期における「A+」評価の科目数が多い者 (2)累積 GPA が高い者 (3)総修得単位数が多い者 (4)給付学期の直前の学期における「A」評価の科目数が多い者 (5)給付学期の直前の学期における「B」評価の科目数が多い者 (6)給付学期の直前の学期における「C」評価の科目数が多い者 (7)給付学期の直前の学期における必修科目の素点(各科目 100 点満点) の合計が高い者
第 4 セメスター以降	<ul style="list-style-type: none"> (1)累積 GPA が高い者 (2)総修得単位数 (単位認定した科目を含む) が多い者 	

[食マネジメント学部]

別表1 給付人数

1回生 秋学期	2回生 春学期	2回生 秋学期	3回生 春学期	3回生 秋学期	4回生 春学期
7	7	7	7	7	7

別表2

<p>選考基準 (各学部 で定める 基準)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選考・受給 決定学期</th> <th>選考・受給決定 学期の回生</th> <th>前学期修得の 「要卒単位数」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">春学期</td> <td>2回生</td> <td>18単位</td> </tr> <tr> <td>3回生</td> <td>18単位</td> </tr> <tr> <td>4回生</td> <td>16単位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">秋学期</td> <td>1回生</td> <td>18単位</td> </tr> <tr> <td>2回生</td> <td>18単位</td> </tr> <tr> <td>3回生</td> <td>16単位</td> </tr> </tbody> </table>	選考・受給 決定学期	選考・受給決定 学期の回生	前学期修得の 「要卒単位数」	春学期	2回生	18単位	3回生	18単位	4回生	16単位	秋学期	1回生	18単位	2回生	18単位	3回生	16単位
選考・受給 決定学期	選考・受給決定 学期の回生	前学期修得の 「要卒単位数」																
春学期	2回生	18単位																
	3回生	18単位																
	4回生	16単位																
秋学期	1回生	18単位																
	2回生	18単位																
	3回生	16単位																
<p>GPAが同 点の場合 の取り扱 い</p>	<p>給付学期の直前の学期に修得した卒業に必要な単位のGPAが同一であった場合、以下の順に推薦・決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 給付学期の直前の学期の修得単位数が多い者 2. 累積GPAの高い者 3. 総修得単位数の多い者 4. 専門科目の累積GPAの高い者 5. 給付学期の直前の学期の専門科目の「A+」評価の数の多い者 6. 給付学期の直前の学期の全ての科目の「A+」評価の数の多い者 7. 給付学期の直前の学期の全ての科目の「A」評価の数の多い者 																	

[情報理工学部]

別表1 給付人数

コース	通常学生	1回生 秋学期 (2セメ)(※1)	2回生 春学期 (3セメ)(※1)	2回生 秋学期 (4セメ)(※1)	3回生 春学期 (5セメ)(※1)	3回生 秋学期 (6セメ)(※1)	4回生 春学期 (7セメ)(※1)	/
	編入生						3回生 春学期 (6セメ)(※1)	
Information Systems Science and Engineering Course・情報システムグローバルコース		1	7(※2)	7(※2)	7(※2)	7(※2)	7(※2)	0
その他のコース		8						0
全コース(※3)		1	3	3	3	3	4	1

※1 休学や進級不可により、奇数セメスター（例、1, 3セメスター）学籍異動した場合は、同回生の異なるセメスターにて選考する。

※2 各コースから上位1名を採用する。

※3 1回生は Information Systems Science and Engineering Course・情報システムグローバルコースとその他のコースの次点者から上位1名を採用する。2～4回生春学期は各コースの次点者から上位3～4名を採用する。4回生秋学期は、編入生と学籍異動等で7セメとなっている学生のみ選考対象とし、上位1名を採用する。

別表2

選考基準 (各学部で定める基準)	選考・受給決定学期	前学期（選考対象学期）修得の「要卒単位数」
	1回生秋学期～ 3回生秋学期	前学期における要卒修得単位数が16単位以上であること
	4回生	前学期における要卒修得単位数が12単位以上であること

GPA が同 点の場 合の取 り扱 い	次の基準を順次適用して選考する。 1. 前学期に修得した要卒単位数が多い者 2. 累積 GPA が高い者 3. 前学期の A+評価の科目数が多い者 4. 前学期の A 評価の科目数が多い者 5. 編入学生については、編入学前の所属大学の累積 GPA が高い者 上位 5 項目がすべて同じ場合、学部において決定する。
--	---

[生命科学部]

別表1 給付人数

学科	1回生 秋学期	2回生 春学期	2回生 秋学期	3回生 春学期	3回生 秋学期	4回生 春学期
応用化学科	2	3	3	3	3	3
生物工学科	2	2	2	2	2	3
生命情報学科	1	1	2	2	2	2
生命医科学科	1	1	2	2	2	2

別表2

<p>選考基準 (各学部 で定める 基準)</p>	<p>1. 第2～6学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学期： 前学期における要卒修得単位数が18単位以上であること ・第3～6学期： 前学期における要卒修得単位数が18単位以上であること、および原則として前学期に開講された履修指定実験科目をすべて修得していること <p>2. 第7学期</p> <p>前学期における要卒修得単位数が12単位以上であること、および原則として第7学期で卒業研究1の受講を許可されていること</p>
<p>GPAが同 点の場合 の取り扱い</p>	<p>以下の順に比較を行い、差が生じた点で確定とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前学期における要卒修得単位数が多い者 2. 累積GPAが高い者 3. 要卒総修得単位数が多い者 4. 履修指定科目、必修科目および選択必修科目の累積修得単位数が多い者 5. 履修指定科目、必修科目および選択必修科目の累積GPAが高い者

[薬学部]

別表1 給付人数

学科	1回生 秋学期	2回生 春学期	2回生 秋学期	3回生 春学期	3回生 秋学期	4回生 春学期	4回生 秋学期	5回生 春学期	5回生 秋学期 (*1)	6回生 春学期
薬学科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
創薬 科学科	1	1	1	1	1	1				

*1 4回生秋学期までの累積 GPA に基づき選考する。

別表2

選考基準 (各学部 で定める 基準)	GPAのみ
GPAが同 点の場合 の取り扱 い	<p>給付対象となる学期の1つ前の学期の GPA が同一であった場合、以下の順に推薦・決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 累積 GPA の高い者 2. 要卒単位の総修得単位数の多い者 3. 給付対象となる学期の1つ前の学期の「A+」評価の数の多い者。 4. 給付対象となる学期の1つ前の学期の「A」評価の数の多い者。 <p>上記の項目がすべて同じ場合、学部において決定する。</p>

[スポーツ健康科学部]

別表1 給付人数

1回生 秋学期	2回生 春学期	2回生 秋学期	3回生 春学期	3回生 秋学期	4回生 春学期
5	5	5	5	5	5

別表2

<p>選考基準 (各学部 で定める 基準)</p>	<p>前学期において卒業に必要な単位を 16 単位以上修得していること。 ※ただし、留学期間中に取得した単位については、A+~F 評価で単位授与された科目は GPA の計算対象に含むものとして取り扱う (T、P 評価で単位認定された科目は GPA の計算対象に含まない)。</p>
<p>GPA が同 点の場合 の取り扱い</p>	<p>1. 1回生 「A+」の評価が多い者。ただし、左記で選考しても同点であった場合は、「総修得単位数」が多い者を採用する。</p> <p>2. 2回生以上 累積 GPA が上位の者</p>

[デザイン・アート学部]

別表1 給付人数

1回生 秋学期	2回生 春学期	2回生 秋学期	3回生 春学期	3回生 秋学期	4回生 春学期
1	-	-	-	-	-

別表2

選考基準 (各学部 で定める 基準)	<p>前学期において卒業に必要な単位を16単位以上修得していること。 「デザイン学1」および「英語P1」の評価が「A+」であること。</p>
GPAが同 点の場合 の取り扱 い	<p>「A+」の評価が多い者。ただし、左記で選考しても同点であった場合は、「A」の評価が多い者を採用する。</p> <p>記載するすべての項目でも差が生じなかった場合、デザイン・アート学部教授会において取り扱いを判断する。</p>